

## 令和5年9月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和5年9月6日（水）10時
- 2 場 所 別館3階 特別会議室
- 3 出席者 教育長 蔵元洋一  
教育委員 河本直子、衛藤修身、八木秀和
- 4 欠席者 太田かおり
- 5 事務局 教育部長 北原鉄也  
教育部参事 森 秀輔  
学校教育課長 船元幸徳  
生涯学習課長 亀井 誠  
学校教育課課長補佐兼保健給食係長 野中康伸  
学校指導課課長補佐 権藤信慶  
学校教育課教育総務係長 秦 薫
- 6 傍聴人 2人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

# 定例教育委員会議事日程

令和5年9月6日（水）10時00分

## 1 報告事項

- (1) 令和5年9月学校教育行事及び社会教育施設行事について
- (2) 第14回九州地区市町村教育委員会研修大会について
- (3) 生涯学習センターの改修工事に伴う体育館の利用について
- (4) 少年の主張福岡県大会について
- (5) 市内中学校の部活動の状況について

## 2 協議事項

- (1) 令和5年10月定例教育委員会の日程について
- (2) 令和5年度小学校体育会出席分担割について
- (3) 令和5年度卒業証書授与式及び令和6年度入学式の日程について

[開会時刻：10時00分]

蔵元教育長      おはようございます。  
それでは、定刻となりましたので令和5年9月定例教育委員会を開催いたします。お配りしておりますレジュメに沿って進めさせていただきます。令和5年9月学校教育行事及び社会教育施設行事について、それぞれ説明をお願いします。

森教育部参事    それでは9月の学校行事についてご説明いたします。  
まず共通行事についてです。  
28日に、学力向上検証委員会及び小中連携学力アップ推進協議会を行います。県の事業を受けて行う学力向上検証委員会では、北九州教育事務所から指導主事を迎え、中間中、中間小の学力向上の取組を踏まえ、市内全小中学校で学力向上の取組の進捗確認と改善のための協議を行います。その後、中学校区ごとに分かれて、小中連携した学力向上の取組について協議を行います。  
続いて、各学校の行事です。  
東小、中間小、西小では、9日に土曜授業として体育会に向けて親子除草作業を行います。  
東小では、15日に防犯教室が行われます。学校に不審者が侵入してきたという想定で、子どもたちがバリケードを作るなどの訓練を行います。北小では、22日に北小秋まつりが計画されています。PTAの協力により、駄菓子、ジュース等の販売やゲームなど、子どもたちが楽しめる内容が企画されています。  
続いて中学校です。全ての中学校で、21、22日に2校、28、29日に2校で中間考査が実施されます。  
中間中では、20日に夢授業が行われます。  
また、29日には火災を想定した避難訓練が計画されています。  
北中では、7、8日に保育体験が計画されています。校区連携事業ほくほく夢ネットの活動の一環で、3年生の生徒がさくら保育園に行き、保育体験活動を行います。25日からは、福岡教育大学から教育実習生を受け入れます。北中の卒業生が国語科の教員を目指して教育実習を行います。それから、26日に計画されている薬物乱用防止講演会は、講師との日程が合わず今回は中止となっています。  
東中では、4日に少年サポートセンターから講師を招聘し、薬物乱用防止講演会が行われました。6日には体験入学が行われます。東小、西小

の6年生に対して、体験授業や部活動紹介等が行われます。また、南中においては、人数が多くなり教室の確保が困難なため、1、2組の児童を5日に、3組の児童と西小の児童が6日に行われるようになっていきます。このことから、南中では2日間で体験入学が行われることになっています。それから、南中では29日に地震を想定した避難訓練を計画しています。以上で9月の学校行事の説明を終わります。

蔵元教育長      ありがとうございました。  
それでは、ただいまの森教育部参事の説明についてご意見ご質問等があればお願いします。衛藤教育委員。

衛藤教育委員    まず、共通行事についてです。5日の地域と学校の連携・協働推進研修会の内容と参加者を教えてください。  
次に、28日の学力向上検証委員会で、中間中と中間小の学力の状況を踏まえながら市内全体にわたる学力アップの会議の案として中間中と中間小の学力状況を提示されるのでしょうか。  
次に、クラブ活動というのが底小、中間小、北小、南小に入っています。クラブ活動というのは1週間の授業の1コマだと思いますので、学校行事ではないかと思いますが、載せている意味があれば教えてください。  
次に、底小について研修（ICT）というのが21日にあります。これは座学なのか、パソコンやタブレットを使う実習を伴ったものなのか教えてください。  
次に、中間小の研修が3週にかけて主題研修とあります。内容を教えてください。  
次に、北小秋祭りが、金曜日に実施されるとありました。PTAを交えた行事なら土日の方が参加しやすいのではないかと思います。金曜日を選んだ理由を教えてください。  
次に、南小と南中、東小と東中、西小と南中の体験入学について、具体的な内容について教えてください。  
次に、南小21日の小中合同ケース会議について、生徒の問題をお互い持ち寄って、今後の具体的な指導等の会議をされると思います。個人情報等の関係があると思いますので話せる範囲で会議の内容を教えてください。  
最後に、各中学校で中間考査の前に子どもたちが学習しやすいように、学校の配慮で質問教室が設けられています。これは生徒にとって非常にありがたくプラスになることだと思いますが、学校によって設定日が2

日間、3日間、5日間と異なる理由を教えてください。

蔵元教育長      ありがとうございます。こちらの質問に森教育部参事お願いします。

森教育部参事    まず共通行事の地域と学校の連携・協働推進研修会の内容は、地域学校協働活動とコミュニティスクールとの一体的な推進についての研修です。対象は、学校教員及び教育委員会職員等で、本市からは教員6名程度、PTA役員、学校運営協議会委員、事務局から2名、計11名が参加し鞍手町の公民館で実施されております。内容は、コミュニティスクールでの取組について、地域と学校の連携協働した実践発表を受けた協議になっております。

2点目は、学力向上検証委員会です。中間小、中間中の学力状況を踏まえた取組で、中間小、中間中の取組の結果、どのような成果が出てきているのか、また課題があるのかということを実践発表の中で提示していただくようになっています。

3点目、小学校のクラブ活動がなぜ表記されているのかについてです。小学校では、クラブ活動を年間5回～7回程度実施しており、毎週時間割として行っているわけではないので、児童会活動のように行事予定表にも記載されています。

4点目、底小21日の研修（ICT）の内容と方法についてです。授業におけるiPadの効果的な使い方について、ICT担当の教員が講師となって、実際にタブレットを使いながら研修を行います。

5点目、中間小の研修（主題）が3週連続しているのは、中間小は11月に福岡県の研究指定委嘱の中間報告会を控えているためです。10月に入ると体育会の練習等が入るため、9月のこの時期に集中して連続で主題研修を入れております。

6点目、北小22日の秋まつりについては、学校とPTAとの間で協議され、この設定になったと聞いております。この行事については、親御さんにきていただくという意味合いよりも、コロナ禍でこのようなイベントができなかったため、子どもたちに体験させたいという意図から動き出したものです。

7点目、体験入学の内容については、体験授業がメインです。それから部活動紹介が行われると思います。

8点目、南小、南中21日の小中合同ケース会議の内容は、SSWSVを活用し、南中、南小の不登校やヤングケアラー等、気になる児童生徒について、情報共有や対応についての協議を行います。案件の内容については、

個人情報がありますので控えたいと思いますが、南中が主催し、SSWSV、SSW、家児相、南小関係教員が参加します。SSWSV、SSW が入ることでより効果的なものになると思います。

9 点目、質問教室の設定日数についてです。学校行事の都合で放課後の質問教室の時間がとれていませんが、給食時間や昼休み、朝の時間や業間休みや昼休みなど、放課後以外の時間で質問を受け付けるようにしています。

蔵元教育長 よろしいでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員 小中合同ケース会議について、行事予定にあげられたのは初めてではないでしょうか。これは素晴らしい取組だと思いますので、他の学校にも広げていくべきだと思いますが、他の学校ではどのようになっているのですか。事務局としては、このような取組を広げていくことをどのように考えているのか教えてください。  
それから、東中の FBT とありますが、内容を教えてください。

森教育部参事 小中合同ケース会議について、行事予定になぜあげたかという、SSWSV、SSW が参加するという事で特別な会議になっておりますので、表記をしております。ここに載らないレベルで小中合同で共有した方がよい情報などは、もちろんその都度、計画され実施されております。これは他の学校も同じです。衛藤教育委員がおっしゃったように、他の学校にも広げていくべきということにつきましては、学校間での小中連携という意味での取組は行われていますので、事務局としても今後も充実させていきたいと思っております。  
SSWSV の活動については、県の事業になりますので、数に限りがございます。このあと、北小で 2 回入っております。東小でも 1 回、各学校で活動されております。  
東中の FBT ですが、フィードバックテストの略称です。中間考査で課題が見られた問題を中心にやり直しを行い、弱点を克服していくための取組です。

衛藤教育委員 ありがとうございます。

蔵元教育長 それでは、その他ご意見ご質問ございますでしょうか。河本教育委員。

河本教育委員 中間中の20日の夢授業の内容について教えてください。  
それから、夏休み明けの子どもたちの様子について教えてください。たまに下校途中の子どもが、とぼとぼと暗い様子で帰っているのを見かけたり、夏休み明けに学校へ行きたくない子どもの様子がTVで報道されたりしますので、気になります。  
それから、ヤングケアラーについてです。TVなどで報道されているのを見ると大変な思いをされていると思いますが、中間市には、現在どのくらいいるのか、またどのようなケアをされているのか教えてください。

森教育部参事 1点目、夢授業の内容です。各中学校で行われていますが、職業人を招いてのキャリア教育の学習になります。職業人を7、8名ほど招いて、様々な職業の方から、その職業の素晴らしさや、やりがい、それからその職業に就くまでの過程、どのようなことが必要なのかなど、その職業の方でないとわからないことをお話していただきます。中学生がそれを聞くことで将来の展望に夢を持てるような教育活動となっております。  
2点目、夏休み明けの子どもたちの状況ですが、私も夏休みが明けてから毎朝各学校をまわって、子どもたちと話をしてまいりました。夏休み明けですが、暑さが厳しく生活が切り替わるということで、やはり疲れが感じられる子もそこそこいました。逆に、学校に来ることを楽しみにしていた子どももいまして、私が10年以上前に学級担任をしていたころと同じだなど思ったりしましたが、ただ暑さに疲れていると感じられる子が多いというのが印象的でした。南小は太陽に向かって、ずっと坂を上って登校します。一緒に歩きましたが堪えます。そのような外的な要因もあって厳しい状況もあるのかなと、特に今年は、そうなのかなと感じたところはありません。ただ、校長等からの聞き取りになりますが、教室に入ってしまうと、特に大きな変化もなく、熱中症に配慮しながら楽しく学校生活を送っている子が多いことを確認しております。  
3点目、ヤングケアラーについて、どのくらいいるのかということですが、私が正確な数を把握できていませんが、そうではないかと思われる子どもは各学校に在籍しています。こちらのケアについては、学校がそのような傾向が見て取れるという子には、家庭児童相談所と連携しながら、家庭に入っていくという内容になります。家児相または児童相談所等の関係機関の力を借りながらSSW等を活用して組織的なケアを行っています。学校では、その子どもの状況をしっかり注視しながら、その家庭の要因等を探るよう取組を行っています。

河本教育委員

夢授業についてですが、とても良い取組だと思います。自分を振り返ってみてもですが、子どもたちが将来何になりたいかということを見つけ出すのが非常に難しいといった中で、そういった夢授業をしていただけることは大変ありがたいことです。各学校に来られる方の職種は毎回異なるのでしょうか。

森教育部参事

おっしゃるとおり、毎回違います。キャリア教育研究会という団体がございまして、こちらにお願いすることで、いろいろな職業の方をご紹介いただけるようになっていきます。組織に200名以上の職業人が登録されているので、様々な職業の方を毎回ご紹介していただいております。

蔵元教育長

その他ありますでしょうか。八木教育委員。

八木教育委員

行事予定には入っていませんが、来月の中旬に小学校で体育祭が予定されていますので、これから練習が始まってくるのかと思います。

先月も痛ましい事故がありましたし、練習しているときではなく体育の授業が終わった後に倒れたと聞きました。先程も話題になりました熱中症対策をどのように子どもたちに指導しているのかなど、心配になりましたのでお尋ねします。

森教育部参事

熱中症対策については、始業式前に各学校に対しまして改めて通知を出しております。内容につきましては、まず子どもたちが新学期になり生活のリズムが整っていない、体調が十分ではないということ踏まえて、暑さ指数(WBGT)31を超えたら原則として運動を伴う活動は中止をするということを徹底するというものです。8月いっぱい、給食終了後に下校しますが、この間午前中でも暑さ指数(WBGT)が31を超える日がありましたので、必ず徹底するように通知しております。今週から新たなクールに入りますが、基本的には暑さ指数(WBGT)が31を超えたら運動は控えること、それから部活動等も、まず暑さ指数(WBGT)31を基準として、子どもたちの状況をこまめに把握して、安全を最優先していただくように学校に連絡しております。それから、子どもたちが自分で熱中症を予防する力が必要ですので、熱中症に対する理解を進める指導を行うように、こまめに水分補給を行い、とにかく無理をしない、きつくなる前に水分をとったり、休んだり、涼しい状況に体を置いたりすること等を指導していただくように連絡しております。小学校の体育会の練習につきましては、3週目あたりから計画されているところが多



いようです。これより前に始めるところもありますが、暑さ指数 (WBGT) を細かく把握し、万全の取組をしている状況でございます。以上です。

河本教育委員 熱中症について、喉が渇いてから水分をとるのでは、手遅れだと言われて  
います。喉が渇いたというのには個人差があって、自覚できないなど  
様々あると思いますが、時間を区切って水分補給することに加え、飲み  
たいと思ったらいつでも水分補給して良いと学校でも指導していただき  
たいと思います。

森教育部参事 喉が渇く前に水分補給するように、また教室の授業であっても必要に応  
じて水分補給するように指導しています。それから、体育会の授業では  
15分から20分間隔で水分補給に加え、自分で必要と感じたら水分補  
給を行うようになっております。ありがとうございます。

衛藤教育委員 その件で、子どもたちが水筒を持ってきましたが、飲み干して空にな  
ってしまったときは、補充するなどの対応をされていますか。お尋ねし  
ます。

森教育部参事 小学校では、職員室に子どもたちが「水筒の中身がなくなりました」と  
言って来たら、職員室で準備しているお茶を飲ませるなど臨機応変に対  
応しています。また、中学校につきましては、基本的には自動販売機で  
購入することになります。

蔵元教育長 他に何かございますでしょうか。  
それでは、社会教育施設行事について説明をお願いします。

亀井生涯学習 9月社会教育施設行事の主なものをご説明いたします。  
課長 中央公民館事業です。  
公民館事業は7日(木)10時からなかまハーモニーホールにおきまし  
て、「きらめき大学」が開催されます。「年長者の防犯対策」と題し折尾  
警察署生活安全課の職員に講話いただきます。定員は100名程度を予  
定しております。

次に、8日(金)14時からなかまハーモニーホールにおきまして、昨年  
好評いただきましたジャズ講座の2回目でございます「秋に聴きたいジ  
ャズの名曲講座」を開催いたします。サクソとピアノによる秋ならで  
はの曲を話やエピソードなどを交え演奏していただきます。定員は30

名程度を予定しております。

次に、14日(木)10時からハピネスなかまにおきまして、「りふればーく」4回目を開催いたします。「身体作りと栄養」「ライフステージと女性ホルモンの変化」と題し、大塚製薬の方に講話いただきます。定員は20名程度を予定しております。

体育文化センターです。3日(日)、10日(日)仰木彬記念球場におきまして、第61回中間市長杯軟式野球大会が開催されます。12チーム108名の参加予定でございます。

次に、23日(土)、24日(日)福岡地区を中心に令和5年度第66回福岡県民スポーツ大会(秋季大会)が開催されます。中間市選手団につきましてはバレーボール一般男子をはじめ8競技13種目105名が参加予定となっております。

図書館です。26日までの間、自殺予防週間特集展示が行なわれております。自殺予防週間に合わせ中間市の統計等を含む資料や冊子などを展示しております。5日(火)から26日(火)まで、「みんなの本棚～おすすめ本募集～」と題したイベントを行います。図書館内で募集用紙を配布し来館者のおすすめの本を募集する企画となっております。募集用紙は11月1日より図書館内に掲示する予定となっております。

次に、ハーモニーホールです。10日(日)17時から大ホールにおきまして「DRUM TAO 30周年記念新作舞台」が開催されます。和太鼓を中心に篠笛などによる演奏です。チケットは完売となっております。

23日(土)17時から「ハーモニーコンサートwithぶどうの樹」が開催されます。サクソとピアノの演奏ライブでございます。ぶどうの樹によるフードコートが設営されることとなっております。一般6,000円、会員5,400円となっております。

社会教育施設の主な行事予定は以上でございます。

ただいまの説明に対して、ご意見ご質問等があればお願いします。

蔵元教育長

衛藤教育委員。

2日の「おもしろ歴史講座」について内容を教えてください。

衛藤教育委員

次に、3日、10日の軟式野球大会についてです。12チーム108名の参加ということで多分自治会単位の参加だと思っておりますが、12チームというと中間市の自治会からすると約5分の1しか参加していないこととなります。以前は2会場にまたがって開会式等が行われていたのですが、いろいろな状況の中で変化してこうなったのだろうと思っておりますが、今後

チーム数が増えるような取組や呼びかけなどをされるのでしょうか。あるいは、チーム数を増やす方策等が考えられているのであれば教えてください。

最後に、23日の「ハーモニーコンサート with ぶどうの樹」につきましては、広報車により案内されていまして、よくわかりました。このような広報車を使つての案内というのは、市民にとって情報がよく伝わりますので、可能ならば今後も行つていただきたいと思います。

亀井生涯学習  
課長

まず、「おもしろ歴史講座」につきまして、2日10時から郷土史研究家の三浦明彦さんをお招きして肥前福岡と筑前福岡のルーツという題名で講話をお願いしました。

次に、軟式野球大会の参加についてでございますが、自治会のみでの参加は大変少ないため、試合ができるだけの参加数がございますので、サンデーベースボール加入チームや市内外の野球愛好家の方々に参加を頂くような形をとつて参加資格を広めている状況でございます。自治会単位での参加というのは今大会では3チームしかございませんでした。そういった連盟の加入者加入チームに呼びかけて大会を盛り上げていただくようにしております。

蔵元教育長

その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。

それでは、第14回九州地区市町村教育委員会研修大会につきましては、教育委員会を代表して衛藤教育委員からご説明をお願いします。

衛藤教育委員

それでは、教育長含めて4名が九州地区市町村教育委員会研修大会に参加しましたので代表して報告します。

令和5年8月3日（木）から8月4日（金）の2日間の日程で、佐賀文化会館大ホールにて、九州8県から、教育長、教育委員、事務局職員を含めて779人が参加して行われました。

第1日目は、行政説明とティーンズミュージカルSAGAのダンスステージの公演が行われました。この中の松本会長の挨拶では、4年ぶりの開催で社会の変化に敏感に反応しながらお互いに情報を共有しあう大会にしていこうと趣旨が述べられました。第2日目は視察研修でした。

行政説明では「部活動の地域連携・地域移行について」スポーツ庁政策課スポーツ戦略官中平公士氏が地域スポーツ・文化芸術環境の整備について具体的な説明が行われました。

説明の内容としては、少子化・人口減少の加速化の中では30年で約3

割、90万人強の生徒数が減少し、生徒数と学校数が小さくなり、部活動の参加人数は減少傾向にあり、持続困難な状況が加速し、1運動部あたりの参加人数は令和3年度には16.4人に落ち込み、運動部活動への参加率は減少傾向にある。運動部活動に加入している中学生の全国の推移は、平成25年と比べると令和4年度はソフトボール部では43.52%、軟式野球部では42.37%、サッカー部では39.26%、柔道部は31.9%、バスケットボール部は8.49%減少しており、バレーボール部は1.79%の増加となっています。また、中学校における合同部活動の実施チームの推移は、サッカー部、軟式野球部、バスケットボール部、ソフトボール部、バレーボール部となっており、中でも、サッカー部は10年前と比べると732.7%、軟式野球部は477.3%となり、単独チームとしてのチーム形成が困難になっている。こうした大きな変化の中で、学校における部活動改革の必要性は、生徒のスポーツ・文化芸術に親しむ機会の確保や部活動で育つ責任感・連帯性の涵養、生徒同士や生徒と教師の好ましい人間関係の構築など部活動に意義があるからです。また、学校単位での運営は困難であり、学校や地域によっては存続が難しく、働き方改革が進む中では指導体制の継続の一層の困難化など課題が見られます。少子化が進む中で生徒が将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保、地域のスポーツ・文化資源を最大限に活用し、生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動の実現は不可欠で、多様なまちづくりともつながっています。

令和4年12月に新たな地域クラブ活動を整備するため必要な対応について、国の考え方が提示され、「地域子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という意識のもと、地域で持続可能で多様な環境を一体的に整備し、地域の実情に応じたスポーツ・文化芸術活動の最適化を図って、体験格差を解消すること、特に学校部活動を地域クラブ活動へ移行に向けて、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携や地域移行に取り組みながら可能な限り早期の実現を目指すことが示されました。

次に、休日の学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行の方向性について、令和5年度から令和7年度までの3年間で休日の部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めることへの取組が説明され、様々で具体性のある運動部活動の事例を主な内容として説明されました。

説明後、参加者からの質問や意見が求められ、2名の参加者から質問と意見が出されましたが、それぞれの地域で移行するための困難さと多くの課題を感じました。

休憩をはさんで、10代の子どもたちだけの歌とダンスのステージとして「ティーンズミュージカル SAGA」の公演が行われました。高校生がリーダーでメンバーの大半が小中学生でしたが、1時間の公演も短く感じられ、舞台上でのダンスや歌に参加者が深く吸い込まれていくような感動的な時間でした。

閉会の挨拶で、次回開催地の長崎県の会長から、いろいろな取組や活動事例を持って「長崎でお会いしましょう」と締めくくられました。

第2日目の視察研修については、Bコースを選び佐賀城本丸歴史館と佐賀バルーンミュージアムと佐賀市青少年センターを見学しましたが、歴史の壮大な足跡と世界中から参加してくるバルーン競技の楽しさを体験したり学んだりして、午前中の視察研修を終え、帰路につきました。

蔵元教育長

ありがとうございました。それでは、その他でご意見ご質問等ございませんでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

生涯学習センターの体育館の利用について、9月1日から来年の3月31日まで補修工事で、体育館の使用ができないのですが、体育館を利用されている団体は何団体あるか教えてください。

亀井生涯学習課長

生涯学習センターのサークル利用、その他体育館の利用件数です。バウンドテニスのチームが10チーム、バドミントンのサークルが7チーム、卓球が5チーム等、計7競技26団体の利用がっております。

衛藤教育委員

次の質問ですが、26団体の人たちがそれぞれ自分たちの希望する時間に合わせて、体の健康維持にも繋がるし、楽しみにもなっているため、生涯学習センターの体育館を利用されていると思います。それが半年間も使えない状況なので、利用できない人たちは、もう少し早めに補修し、体育館だけでも早く使いたいと思われる方もいらっしゃるのではないかと思います。そのようなことについて、説明などをされたのか教えてください。

亀井生涯学習課長

まず、サークル代表会議を補修工事前に皆さんにお集まりいただいて、体育館と会議室等が使えなくなりますということで、説明させていただいております。そして、代替施設につきましては、ハーモニーホールその他体育文化センター等を各自で予約していただいて、ご利用くださいと説明させていただいております。

衛藤教育委員 私知っている人たちの話を聞きますと、半年間も体育館を利用できないとなると体力も落ちるし体もなまってしまうので、もっと健康のために運動したいということで、他市町村などの代替施設をあたってみたが、時間や使用料等の問題で借りることができないため、利用の再開をできるだけ早くできるような対応をとっていただければと思います。

その他報告事項お願いします。生涯学習課長。

蔵元教育長

1点ご報告させていただきます。

亀井生涯学習課長

8月27日(日)飯塚市イズカコスモスコモンにおいて開催されました「少年の主張福岡県大会」に県内各地から選ばれた15名の内、中間市から2名の生徒が選出され発表されました。審査の結果、優秀賞と県知事賞に次ぐ福岡県教育委員会賞を受賞されましたので、ご報告いたします。

それでは、協議事項に移ります。

蔵元教育長

令和5年10月定例教育委員会の日程についてお願いします。

船元学校教育課長

10月の定例教育委員会の日程につきましては、10月3日(火)午前10時から、会場は本館4階第一委員会室での開催を予定しております。ご協議をお願いいたします。

日程について、ご意見ご質問等ありますでしょうか。

蔵元教育長

〈承認〉

教育委員

それでは、令和5年度小学校体育会出席分担についてお願いします。

蔵元教育長

船元学校教育課長

令和5年度小学校体育会出席分担についてでございます。お配りした分担割(案)をご覧ください。10月14日の土曜日に予定しております小学校の体育会に、教育委員の皆様に参加していただくことにつきまして、分担割を作成しております。ご協議をお願いいたします。

こちらについて、ご意見ご質問等ありますでしょうか。

蔵元教育長

《承認》

教育委員

ありがとうございます。それでは、令和5年度卒業証書授与式及び令和6年度入学式の日程についてお願いします。

蔵元教育長

本年度の卒業式及び来年度の入学式等について、このように計画をいたしました。3月7日（木）に中学校、同じく14日（木）に小学校の卒業式を、4月10日（水）に中学校、同じく11日（木）に小学校の入学式を予定しております。ご協議のほど、よろしく願いいたします。

森教育部参事

こちらについて、ご意見ご質問等ありますでしょうか。

蔵元教育長

《承認》

教育委員

ありがとうございます。それでは、その他ご意見ご質問ありますでしょうか。河本教育委員。

蔵元教育長

先程の研修大会の部活動について関係することですが、中間市も部活動の人数が減ってきて、以前は東中の吹奏楽がとても有名でした。

河本教育委員

私の知っているピアノのプロの方とお話をした際に「吹奏楽で有名な、あの東中がある中間市ですね」と言われ、すごく感激されていました。それで、令和5年から部活動のあり方が変わっていくことを利用して、中間市内の学校全体を集めて、吹奏楽をもう一度立て直したらいかかかなと思います。中間市に住んでいることを自慢できるような、子どもたちに身近で誇れることを作るということは、とても大切なことだと思います。だから、吹奏楽をもう一度復活させるような取組をしていただきたいです。それから、部活動に参加する生徒が減ったということで、共通することなのかと思いますが、ピアノの先生をされている方のお話で、ピアノを習っている子どもの親が受験になると辞めさせますと言ってくるそうです。数人の子は自分の意思で残って続けるらしいのですが、そういう子は中間考査でも期末考査でもピアノ教室に休まずにきて学校での成績も学年でトップクラスの子が多いらしいです。だから、部活動を辞めさせて勉強させる親が多いですけど、親の意思でそういうことをしても、子どもにその気がなければ成績は上がらないし、親にそういった情報を周知していただけるように先生方から説明してもらってはどうかと思います。

蔵元教育長 ありがとうございます。先程、衛藤教育委員の報告にもありましたが、部活動が持つ意義であったり、成長期、人格形成期の義務教育課程の中において、部活動が持つ意味というのは、非常に深いものがあると認識しております。そして、本市は1つの中学校で1つのチームが持てないという状況を野球、サッカーだけではなく吹奏楽が今まさにそういった取組を開始しようとしていますので、これまでの経緯経過、今後の見通しについて権藤学校指導課長補佐から説明をお願いします。

衛藤教育委員 教育長、その前に県大会の資料の中に部活動の地域移行に向けた実証事業という項目があります。実施予定先「福岡県中間市」で吹奏楽だと思います。こういうのがあるから、国も県も含めて中間市の吹奏楽をどうしようかということは実証事業として、これから何らかの取組が出てくると思います。

蔵元教育長 それで今回9月議会が始まっておりますが、補正として追加で予算計上しております。そのことも含めたところで説明をお願いします。

権藤学校指導課長補佐 まず、吹奏楽ですが、文化庁の実証事業になります。当初は2年間の予定だったのですが、今年も福岡県から依頼されて3年目になります。地域部活動指導員としては、希望が丘高校の檜橋先生が中間市に住まれている方ということで指導していただきました。1年目は、コロナのためにオンラインでの実施となりました。昨年度は、ようやくできるかなと思っていましたが、第1回目ができしたのは、コロナの関係で8月の終わりでした。ゴールを1月に行われるプラスフェスタで全員でやるということで、合同練習を行いました。今年度は地域クラブを目指して「NJBC 中間ジュニアブラスバンドクラブ」活動を希望が丘高校を拠点としてやっています。やはり衛藤教育委員が言われるとおり、課題が多々ありまして、8月に第2回の推進委員会を開きましたが、来年度以降にどうやっていくかを整理している段階です。

スポーツ関係の部活動に関しては、今年度4月に生徒、保護者及び職員にアンケートをとって実態調査を行っています。それから、アンケート結果を保護者に返したり、組織委員会の立ち上げなどを9月1日に行ったところです。現在は「休日における部活動の地域移行」に向けて、しっかりと順序を経てやれるところから準備を進めているところです。



河本教育委員 今のところで質問です。この実証事業の実施予定先として中間市だけが載っていますが、その内容が書いてません。結局、これは吹奏楽なのでしょうか。

吹奏楽です。

権藤学校指導  
課長補佐

蔵元教育長 それから補足ですが、先程、亀井課長から報告がありました第61回中間市長杯軟式野球大会に市長と私も開会式に参加しました。12チームということだったのですが、今年から初めて中学生だけのクラブチームが南校区から1チーム参加しておりました。先程、説明がありましたように令和5年から令和7年の3年間で、国が決めた期間ではありますが、中間市においても文化だけではなく、スポーツでもできることからやっていますので、今後もしできる限り教育委員会として情報提供や関係機関と協力していこうと考えております。

他にご意見ご質問はありますか。それでは、ないようですので令和5年9月定例教育委員会をこれにて閉会をいたします。

[ 閉会時刻：11時09分 ]

令和 5 年 11 月 7 日

教育委員 大田かおる

教育委員 衛藤修身